

◆ 第3アリアンサにやってきて2ヶ月が経ちました

富山のみなさんこんにちは。日本を出発してから2ヶ月が経過しました。第3アリアンサに来た当初は慣れない環境で、毎日が不安いっぱいでしたが、そんな生活にも随分慣れてきました。そんな日々を支えていただいたのは他にもない周囲の方々です。食事に頻繁に招いていただいたり、JICA のルールで車を運転できない私をいろいろな行事に連れ出していただいたりと毎日感謝の連続です。

この1ヶ月は「時間の有効活用」をテーマにいろいろと悩みながら生活していました。授業は毎日午後から1～2コマしかないので、1日の多くが自由に使うことのできる時間です。去年までは喉から手が出るほど欲しかったこの時間、しかしざ手にすると使い方に困ってしまいます。今はゲートボールや野球などの地域の活動、ポルトガル語と英語の勉強、授業の準備などにその時間を充てていますが、まだまだ時間の無駄遣いが多いような気がします。もっと自分に厳しく、1日1日を噛み締めるように無駄なく生活できるようになりたいです。

5月末には JICA の研修でサンパウロ市内まで行って来ました。ブラジル中で活躍する約80名の JICA 隊員が一同に集結し、3日間の研修を受けました。新しい仲間と出会えたことが嬉しかったと同時に、純粋に「凄い！」と思える人ばかりでモチベーションがとても上がりました。今後の活動にこの研修で学んだことを少しずつ生かしていきたいです。それでは5月にあった主な出来事を紹介していきます。

◆ 7年ぶりの・・・ 5月6日(日)

「いよいよ第3アリアンサに野球ができる先生が来た！」という風の噂はすぐに村中に広まり、野球チームに所属することになりました。「野球ができる先生」というと得意そうに聞こえますが、野球がかなり下手な私。大学まで硬式野球をやっていましたが、実際のプレーよりも、どちらかと言うとベンチをホカホカに温めるのが得意なタイプでした。それでも野球が好きなので誘っていただいたことにとても嬉しく思いました。早速、2時間ほど離れた街まで練習試合に連れて行ってもらいました。日本では地元のチームで軟式野球はやっていましたが、ブラジ

ルの野球は基本「硬式野球」です。硬式でプレーするのは7年ぶり、不安でいっぱいでした。それに加え「1番セカンド」でのスタメン出場。なんとか試合に勝利し、個人としても6打数2安打で無事に久しぶりの硬式野球は終わりました。もちろん定番の守備でエラーもしました。



↑ 相手チームの Facebook に投稿されていました

◆ 母の日の会 5月13日(土)

5月に「母の日」があるのははっきり日本だけかとずっと思っていた私。どうやら世界のあちこちで5月に母の日があるみたいです。ここアリアンサでは毎年日本語学校横の会館で「母の日の会」を開催するそうです。ここで村の方々が集まり、食事をする際にいつも用意してくれるのは村の女性陣。しかし、この日だけは村の男性陣で食事の準備をすべて行ないます。今年はサラダ、天ぷら、肉、煮物を用意しました。もちろんプレゼントもあります。プレゼントを探しに前日は第3アリアンサから1時間ほど離れたアラサツバという大きな街まで出かけてきました。日本語学校の可愛い子どもたちはこの日のために、お母さんの似顔絵とおりがみで作ったカーネーションを用意しました。多くの方々の笑顔があふれる素敵な母の日でした。



↑ 母の日の会の様子



↑ 子どもたちで作りました